

今が旬です！三種のじゅんさい

これが秋田だ 食と芸能大祭典

5月27・28の両日、秋田市中「これが秋田だ！食と芸能大祭典2017」が開催されました。

秋田の豊かな食と芸能を融合させた見所たっぷりのイベントで、本町からは特産品の販売ブースを出展。中でも生産量日本一のじゅんさいは大人気で2日間とも即完売となりました。

また、27日には演舞団体として長信田太鼓が出演。こちらも圧巻のステージで観客を魅了しました。

日本料理の野崎洋光氏と 食を語らう会

6月11日、JA秋田やまもと農業団地センターで「食を語らう会」が開催されました。野崎洋光氏（東京都分とく山総料理長）を講師に地域の食材を生かした産葉づくりの講演と料理試食が行われました。試食では、じゅんさいをはじめ、地域の食材を使った料理が提供され、町内外から約80人の来場者が舌鼓を打ちました。



▲食と芸能大祭典



▲食を語らう会

じゅんさい旬まつり

6月18日、じゅんさいの館で「じゅんさい旬まつり」が開催され、多くの家族連れなどでにぎわいました。

生産量「日本一」のじゅんさいをPRし、町の活性化を図ろうと、三種町森岳じゅんさいの里活性化協議会の主催で毎年行われているもので、YOSAKOI踊りやじゅんさい音頭の披露や収穫最盛期を迎えたじゅんさいの「流しじゅんさい」、「じゅんさい汁」の無料試食会などが行われ、来場者はみな「おいしい」と答えてくれました。



▲流しじゅんさい



▲じゅんさい音頭

きれいに咲いてね

橋本五郎文庫花苗植栽

6月3日、秋田県花きイノベーション推進協議会と橋本五郎文庫運営委員会（小玉陽三会長）との共催で同文庫のある、みたね鯉川地区交流センターで子どもたちと花苗植栽がされました。

同協議会から740本の花苗が贈られ、子どもたちへの花育体験をと花壇へ、ベゴニアやサルビア、メランポジウムなどを協議会講師の方から植栽のコツを教わりながら「きれいに咲いてね」と思いを込めて植えていました。

参加した子どもたちは、花苗の寄せ植え体験でも丁寧に鉢へ植え替え、その鉢植えはプレゼントされました。



▲「きれいに咲いてね」

いっぱい咲かそう

人権の花

6月8・9日湖北小学校（全校児童128人）で「人権の花」運動が行われました。

この運動は、人権啓発活動地方委託事業として、「命の大切さや相手への思いやりの心をはぐくみ、豊かな人権感覚を身につける」ことを目的として行われます。8日は雨天のため植栽のみが行われ人権擁護委員のほか民生児童委員も出席されました。

9日には全校児童が班ごとになつて協力し合いながらベゴニアなどをプランターに植え、「命の大切さ、自分や仲間を大切にすること」など思いやりの心の大切さを学びました。



▲思いやりの大切さを